

A 薬剤師として求められる基本的資質・能力

DP1
学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に付け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。

DP2
大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する"協創"を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3
健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。

